

船舶事故等調査報告書

平成26年3月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第208号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年11月19日 06時20分ごろ
発生場所	岡山県岡山市岡山水道 岡山市所在の米埼灯台から真方位009° 1,400m付近 (概位 北緯34° 35.4′ 東経134° 02.9′)
事故等調査の経過	平成25年12月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 鉄心丸、131トン
船舶番号、船舶所有者等	134709、有限会社岡本海運
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、スクラップ約285tを積み、船首約2.40m、船尾約3.20mの喫水により、前日から錨泊していた岡山水道の南東方沖で錨を揚げ、船長が単独で船橋当直に就き、目視による見張りをを行い、揚げ荷岸壁に向けて明るくなってきた岡山水道の水路中央部を手動操舵によって約7ノットの対地速力で北北西進中、平成25年11月19日06時20分ごろ岡山水道東側の浅所に乗り揚げた。 本船は、船長が運航者等に連絡をし、錨を投下して高潮期を待ち、来援した引船に引き出されて離礁した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期 日出時刻：06時41分
その他の事項	船長は、レーダー2台及びGPSを作動させていた。 船長は、11月19日07時からの揚げ荷が決まっていたので、明るくなってから岡山水道を航行した方がよいと思い、前日、岡山水道入口で錨泊した。 船長は、岡山水道を平成25年6月に通航したことがあり、水路の中央は、深くなっており、中央を航行すれば、乗り揚げることはないと思い、岡山水道の海図及び潮汐表により、水路の水深及び潮汐の事前調査を行っていなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり

<p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし あり 本船は、岡山水道を北北西進中、船長が、水路の中央部を航行すれば、乗り揚げることはないと思い、水路調査を行っていなかったことから、岡山水道の東側の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、日出前の薄明時、本船が、岡山水道を北北西進中、船長が、水路の中央部を航行すれば、乗り揚げることはないと思い、水路調査を行っていなかったため、岡山水道の東側の浅所に乗り揚げたことにより発生したのと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>本船は、本事故後、岡山水道の海図を備え、事前に水路調査を行った上、コースラインを設定して入港することとした。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航行予定海域については、海図を備え、水路及び港の事情を調査し、自船の状況を考え、無理のない航海計画を立案すること。